

大腸切除術を受けられる

様へ

パスコード:08005-02/08006-01 世代:3

経過 月日	入院	手術前々日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4~6日目	手術後7日目	手術後10日目退院
達成目標	手術に必要な準備ができる		不安なく落ち着いて手術を受けることができる		術後の安静を守ることができる 症状や苦痛の有無を表出できる	歩行ができる 症状や苦痛の有無を表出することができる		食事後も腹痛がない 排ガスがある 傷口の発赤がない	食事を5割以上食べる事ができる	痛みのコントロールを行うことができる	退院後の注意点が理解できる
治療					酸素吸入を行います 心電図をつけます 翌朝まで頻回に全身状態の観察を行います	酸素吸入と心電図を外します 毎日午前中に医師の診察があります	傷の状態をみます	痛み止めの背中 の管を抜きます	<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #fff9c4;"> このような症状が出たら受診して下さい 38度以上の発熱 傷が赤い、傷から膿みが出ている 今までにないような激しい腹痛 便秘が続く 食事摂取が出来ず、嘔気・嘔吐がある </div>		
処置			おへその処置をします 下肢を測定します 爪きり、ひげそりをして下さい マニキュアは落として下さい 指輪を外して下さい	静脈血栓予防のストッキングをはきます 入れ歯、時計、ピンなど外して下さい				術後3日目に傷のテープを外します			
点滴					点滴は手術室です 				食事を半量以上摂取できれば点滴が抜けます		
検査						採血があります 		採血があります 		採血があります 	
活動 安静度	特に制限はありません				手術後はベッド上で安静にしてください 床ずれ予防のため体の向きを変えるお手伝いをします	手術後初めて歩く時、看護師が付き添います 歩行ができます 	特に制限はありません。 				
くすり	持参薬の確認をします	【直腸の手術】 14時と21時に下剤を内服します 【直腸以外の手術】 21時に下剤を内服します	【直腸の手術】 21時に整腸剤と抗菌薬を内服します 【直腸以外の手術】 14時と21時に下剤を内服します	浣腸をします 医師の指示がない限り内服しないで下さい (看護師より説明があります)			抗血栓薬以外の内服を再開します (看護師より説明があります)	術後5日目から抗血栓薬の内服を再開します (看護師より説明があります)			
食事		低残渣食になります	夕食は栄養剤です 19時よりOS-1、水、お茶のみ摂取可です	食事はできません 水分摂取は()時までです 	食事・飲水はできません 	水分摂取ができます (看護師より説明があります)		昼から5分粥が開始します			
清潔	通常通り入浴してください 		おへその処置をした後に入浴して下さい			タオルで体を拭きます 		術後5日目からシャワー浴ができます 	傷の状態が入浴できます 		
排泄				手術室で尿の管をいれます 	午前中に尿の管を抜きます その後トイレに行けます	トイレに行けます					
患者様 及び家族への 説明	お名前確認のため、ネームバンドを付けます 主治医より手術・治療について説明があります 手術前後の流れについて看護師より説明します 手術の同意書を看護師に渡して下さい 手術に際して準備していただく物 下着またはおむつ 吸い飲みまたはストローとコップ		手術までに看護師より呼吸の方法や、うがいの仕方の説明があります 手術までに看護師より準備物品の確認があります 手術室看護師の訪問があります 	手術は()からの予定です なお、他の手術の進行具合により時間変更になることがあります	主治医よりご家族に手術内容についての説明があります 手術前に説明した呼吸法やうがいができるようお手伝いします 痛みがあるときは我慢をせずナースコールでお知らせ下さい 	痛みのあるときはお知らせ下さい		栄養士より食事指導があります (/)	退院後の生活について看護師より説明があります	10時頃の退院となります 	

わからない点や質問があれば遠慮なく看護師にお尋ね下さい
注)この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容、入院期間等は病状に合わせてその都度変更する場合がありますのでご了承ください。